



トライボロジー研究会始動！ キックオフセミナー開催！

2018年7月3日、トライボロジー融合研究会 (Tri-F研究会) が発足しました(研究会の概要はp.4参照)。そして同日、東北大学片平さくらホールでキックオフセミナーを開催しました。このセミナーには、猛暑の中、地域の企業の皆様を中心に産学官から104名の参加者がありました。東北大学未来科学技術共同研究センターの長谷川史彦センター長からの主催者挨拶に続き、来賓である東北経済産業局の蘆田和也地域経済部長と宮城県産業技術総合センターの堀豊所長からご挨拶をいただきました(下の囲み参照)。

基調講演では、三原雄司教授(東京都市大学)と、辻井敬亘教授(京都大学)から、トライボロジー研究の新しい方向性を示していただきました。続いて、Tri-F研究会の代表に就任した栗原和枝教授(東北大学)と、足立幸志教授(東北大学)、小野寺拓氏((株)日立製作所)が講演し、トライボロ



ジー研究における「計測」、「設計」、「シミュレーション」の具体例を紹介しました(講演概要はp.2参照)。

さらに、これまでのプロジェクトで産学官の連携により課題を解決した地域企業3社((株)ティー・ディー・シー代表取締役社長の赤羽優子氏、大武ルート工業(株)常務取締役の太田貴子氏、KFアテイン(株)代表取締役社長の川又貴仁氏)から、事例報告をしていただきました(p.3参照)。

ご挨拶

東北経済産業局
地域経済部長
蘆田 和也氏



文部科学省東北発 素材技術先導プロジェクトなどにおいては、トライボロジー分野の材料開発、界面設計で成果が生まれ出されただけでなく、地域企業の支援、研究体制育成も精力的に行われてきました。この活動を継承・発展させるために、「トライボロジー融合研究会」が発足したことにお祝いを申し上げます。東北経済産業局としても、「地域中核企業創出・支援事業」によりこの研究会を支援しています。本日、幅広い企業、公的機関を含む多くの皆様に参加されていることは、トライボロジー分野への関心の高さを示すものと感じています。この研究会の取り組みの中から、地域企業との連携製品が次々に実用化されることと期待しています。

宮城県産業技術
総合センター 所長
堀 豊氏



栗原先生とは、東北発 素材技術先導プロジェクトの際に、KFアテインさまの滑雪塗料開発の支援をお願いしてからのおつきあいです。当センターには摩擦に関する知見も測定装置もない中で、先生に親身に相談に乗っていただき、研究が進みました。当センターは、宮城県のものづくり産業を振興するため、技術支援、人材育成、研究開発を3本柱として活動しています。「トライボロジー融合研究会」の活動を、地域産業の支援にいかしていただけることはたいへんありがたいことです。当センターも、この研究会を通じて大学の支援を受けながら、地域企業のためにますます活発に活動したいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願ひします。